

海洋サミットに向けてのイメージ

「ふるさと角浜」の今までの流れ〔1学期～2学期〕

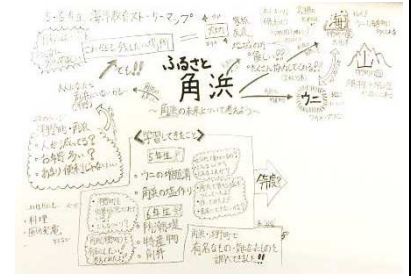
《4月》

ふるさと角浜は「大切な場所」「残したい場所」でも、自分たちはいないかもしれない。

理由：やりたいことが洋野町ではできないかもしれない。

角浜・洋野の良さは分かるが、便利性がもっとあがってほしいとも思う。

でも、「大切な場所」「残したい場所」だから残すための何かを考えたい。



昨年度までもやってきたが、実現不可のものが多い…

今を生きる角浜の人のことを知れば何か見えるかも！

洋野町で活躍する「人」をテーマに活動（ヒーローの旅、磯掃除、種市高校、乗船体験）

様々な活動・人の思いを整理すると…

今洋野町で活躍する人は、今の洋野町の環境が魅力的であり今あるものを生かして有名にしていきたいという思いを持っている人が多かった。洋野の環境を守りたいという思いがあった。

ぼくたち・わたしたちも何かできる範囲で今あるものを生かせないか。

2つのテーマができた

①角浜・洋野を知らせる。

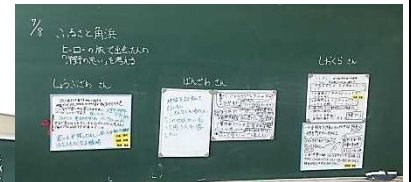
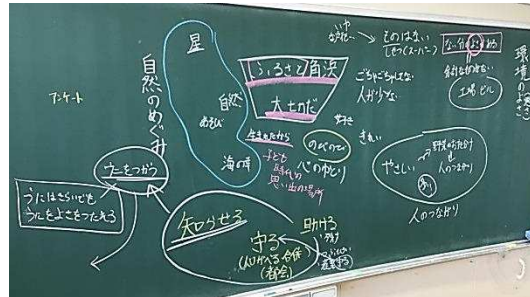
②角浜を守る・助ける。

(1) ウニの染色を見つけた。

(2) ウニに興味を持った。

(3) 角浜で知らないことの一つ

防災に興味をもった



学習グループは4つ

今年度のサブテーマ

①角浜・洋野を知らせる。

②角浜を守る・助ける。

◆グローバルな視点 産業廃棄物という側面（ゆうき）	②角浜を守る・助ける 防災「防波堤・風力発電」	①角浜を知らせる ◆ウニの増殖溝
①角浜を知らせる ウニ染めチーム	①角浜を知らせる 「ウニのから利用」	
【課題設定の理由】		
新たなウニの良さを知ってもらうために、ウニの染めを新たな特産にできないか検証する。 ウニが特産物で角浜を支える産業である。ウニが苦手な人もいるので、何かウニを生かしたものを作って角浜を知ってもらいたい。	海とともに生きる角浜・洋野が安全で幸せに暮らすために防災の視点から防波堤・防波堤について調べていく	3年生からの探究・研究の継続 今年度 「他の地域の増殖溝の仕組み」 仕組み…大きさ・深さ・幅・構造など

メモ